

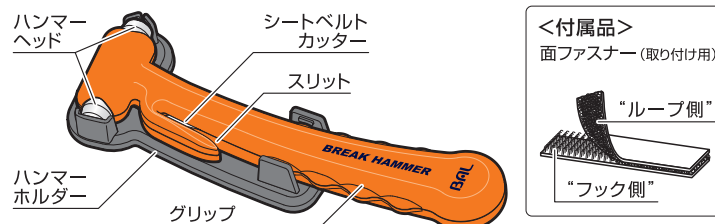
**お買い求めになる前に**

- 本製品は交通事故、水没などの重大な車両災害にあったときに車内から脱出・救出するためのツールです。その他の目的では使用しないでください。
- 合わせガラスや、ウィンドウフィルムを貼り付けたガラスは本製品で割ることはできません。

**取扱説明書**

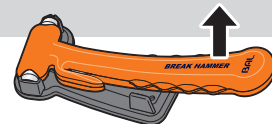
緊急時に備えて、必ず本書および箱内の取扱説明書(注意事項)をよく読んで、正しくお使いください。また、読んだ後も大切に保管して必要に応じてお読みください。

**各部の名称**

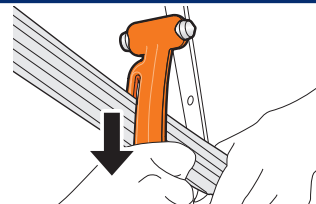


**使いかた**

ハンマー本体をハンマーホルダーから取り外してください。(グリップ部分を引き起こして引っぱると、ハンマーホルダーから外れます。)



**シートベルトカッター**



- ①シートベルトをハンマー本体のスリット部分に通してください。
- ②ハンマー本体を矢印の方向に引くとシートベルトが切れます。



※左図のようにシートベルトに対して角度をつけると切れやすくなります。

**ハンマー**



ハンマー使用位置  
ハンマーヘッドの尖っている部分でサイドガラスの隅を叩くとガラスが割れます。

フロントガラスは合わせガラスでできているため、本製品で叩いても割れません。

※割れたガラスの破片がケガをしないように注意してください。

※自動車の車種によってはサイドガラスが合わせガラスの場合があります。詳しくは自動車メーカーへお問い合わせください。

品番	636
品名	ブレイクハンマー(オレンジ)
材質	本体:PC ハンマーヘッド:SUJ2 シートベルトカッター:ステンレス刃物鋼
仕様	本体サイズ 70(W)×18(D)×203(H)mm 質量 100g(ハンマーホルダー含まず)

※改良のため、予告なく仕様および外観を変更することがあります。  
※印刷の誤差上、パッケージの写真と実際の商品の色とは多少異なる場合があります。  
※本製品は日本で企画・開発し、台湾で製造しています。

**大橋産業株式会社**

お客様相談窓口: 0120-076-074

(受付:平日9時~12時/13時~17時30分)

〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号

TEL (06) 6996-2631 (代) 大阪本社 東京支社

http://www.bal-ohashi.com



MADE IN TAIWAN

**BAL ブレイクハンマー 取扱説明書(注意事項)**

緊急時に備えて、必ず本書および箱裏面の取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。  
また、読んだ後も大切に保管して必要に応じてお読みください。



**シートベルトカッターについて**

一度でも使用した場合、外観上には異常がなくても切断力が低下している可能性があります。本製品の買い替えをお願い致します。

**安全上のご注意**



**警告**

- 製品本来の用途以外では使用しないでください。
- お客様自身による分解、修理や改造などは絶対にしないでください。
- 自動車の運転や操作の妨げになるところに設置しないでください。事故の原因になります。
- エアバッグの動作の妨げになるところに設置しないでください。



**注意**

- 乳幼児の手の届くところに保管しないでください。
- 直射日光のあたる場所やヒーターの吹出口の近く、発熱体の近辺や湿度の高い場所に保管しないでください。

**設置上のご注意**

- シートベルトがロックした状態でも確実に手の届く場所に設置してください。シートベルトがロックして身動きがとれなくなった場合、設置場所によってはハンマーに手が届かなくなる恐れがあります。



- 以下のような場所には設置しないでください。
  - ・車両の窓付近や運転の妨げになる場所
  - ・エアバッグ付近
  - ・水がかかる場所
  - ・ヒーターの熱風が当たる場所
  - ・取り付け面が熱を持つ場所

**面ファスナーの両面テープについて**

- 面ファスナーを貼り付ける場合、貼り付け場所の材質によって貼り付けにくい場合があります。
- 長期間で使用になった場合、貼り付けた場所が変形、変色することがあります。
- 気温が低い(20℃以下)場合は粘着力が低下します。自動車のヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- 面ファスナーを貼り直すと粘着力が低下しますので、貼り付けは慎重に行ってください。
- 衝撃や振動でハンマーホルダーおよびハンマー本体が外れないように確実に固定してください。  
※場合によってはハンマーホルダーの穴を利用して4mmのネジなどで固定してください。取り付け用のネジは別途ご用意ください。

**廃棄について**

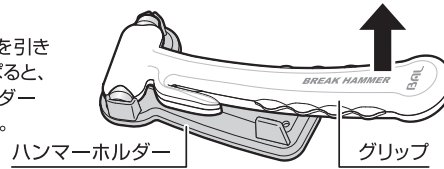
- 本製品を廃棄するときは、各自治体の指示に従って正しく処分してください。

**ハンマーホルダーの取り付けかた**

- ①ハンマーホルダーを取り付ける位置を決め、取り付け場所およびハンマーホルダーの裏面の油分・水分・ほこりなどの汚れをきれいにふき取ってください。

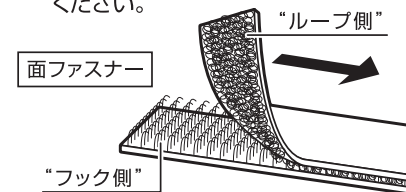
- ②ハンマー本体をハンマーホルダーから取り外してください。

※グリップ部分を引き起こして引っぱると、ハンマーホルダーから外れます。

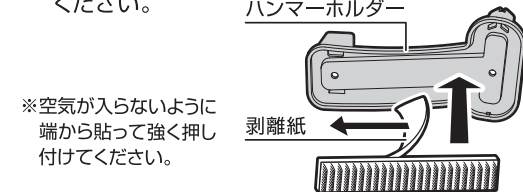


裏面につづく

- ③面ファスナーの“フック側”(固い面)と“ループ側”(柔らかい面)を分離してください。



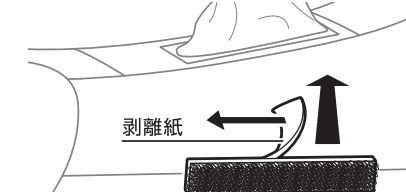
- ④面ファスナーの“フック側”の剥離紙を剥がして、ハンマーホルダーの裏面にしっかりと貼り付けてください。



※空気が入らないように端から貼って強く押し付けてください。

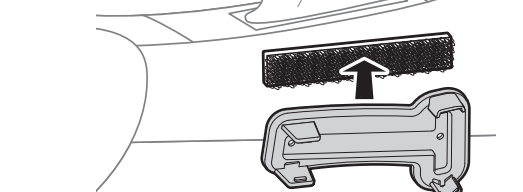
- ⑤面ファスナーの“ループ側”の剥離紙を剥がして、取り付ける場所にしっかりと貼り付けてください。

※空気が入らないように端から貼って強く押し付けてください。



- ⑥面ファスナーの“フック側”と“ループ側”を合わせて、ハンマーホルダーを固定してください。

※ハンマーホルダーを強く押し当てて、しっかりと固定できていることを確認してください。  
※貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上放置してからハンマー本体をハンマーホルダーに取り付けてください。



道路が一度冠水すると、短時間で水位がどんどん上がり大変危険です。

**危険! 水没車両  
すぐに脱出を!!**

冠水した道路を自動車ですると、浸水によりエンジンが停止して走行ができなくなる場合があります。さらに水位が上がると水圧でドアが開けられなくなり、車内に閉じ込められてしまい大変危険です。

**水位が下記の時には...**

<p><b>1 車の底面</b></p> <p>水位が低いうちに <b>ドアを開けて脱出</b> する。</p>	<p><b>2 ドアの半分</b></p> <p>水圧でドアが開かない場合は、<b>窓を開けて脱出</b> する。</p>	<p><b>3 窓の高さ</b></p> <p>ドアも窓も開かない場合は、<b>窓を脱出用ハンマーで割って脱出</b> する。 ※浸水時に脱出ハンマー無しで窓ガラスを割ることは大変困難です。</p>	<p><b>4 屋根に届く</b></p> <p>窓が割れない場合でも、<b>車内外の水位が同程度になるとドアが開く可能性が高まる</b>のであきらめずに脱出の機会を待つ。</p>
--	---	---	--